

第68回 国連女性の地位委員会 (CSW68) 「優先テーマを中心に」



JAWW CSW直前勉強会
2024年3月4日



大崎麻子
Gender Action Platform理事
CSW68日本代表

▶ 自己紹介

1997年に国連開発計画(UNDP) ニューヨーク本部に入局。開発政策局ジェンダー・チームにて、ジェンダー主流化のメソドロジーの開発、日本・UNDP「WID基金」のマネジメント等に従事。2005年に、独立。

2011年、目黒依子元CSW日本代表らと共にGender Action Platformを創設。「グローバルスタンダードを日本にも」を活動目的に掲げ、国際協力及び日本国内の施策におけるジェンダー主流化、女性・女の子のエンパワーメントを推進。

他に、国際NGOオックスファム・ジャパンの東日本大震災復興支援ジェンダーアドバイザー、UN Women・EU・ILO協働プロジェクト「We Empower in G7（民間セクターにおけるジェンダー平等推進）」日本コーディネーターなどを務めた。

内閣府男女共同参画会議計画実行・監視専門調査会委員

外務省「女性、平和、安全保障」に関する行動計画評価委員会委員

兵庫県豊岡市ジェンダー平等推進アドバイザー
（全国に先駆けて「ジェンダーギャップの解消」を掲げ、エクイティの観点からの取り組みを展開）

日本規格協会「ISO/PC 337（ジェンダー平等の推進および実施のガイドライン）」国内委員会委員及び起草作業部会日本代表

（公財）みらいRITA財団/シャネル財団による助成プログラム「YUIみらいプロジェクト（ソーシャルインパクト部門+ジェンダー視点のある地方創生部門）」ジェンダーエキスパート

BIPROGY株式会社独立社外取締役

Gender Action Platform www.genderactionplatform.org

大崎麻子公式サイト www.asako-osaki.com

YUIみらいプロジェクト <https://mirairita.org/yui-mirai/>

▶ 第68回CSWのテーマ

優先テーマ

ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速（政府訳）

Accelerating the achievement of gender equality and the empowerment of all women and girls by addressing poverty and strengthening institutions and financing with a gender perspective

レビューテーマ

ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラへのアクセス（第63回優先テーマ）

Social protection systems, access to public services and sustainable infrastructure for gender equality and the empowerment of women and girls

優先テーマの背景・概要

背景

- ✓ 複合的な危機による貧困の拡大、政府の財政状況の悪化、公共政策・サービスの縮小
- ✓ 女性の貧困率は男性の貧困率よりも高い。貧困層の女性・少女は、複数の複合的な剥奪を経験（人種、エスニシティ、障害、居住地、婚姻・移民ステータス等）（パラ29）
- ✓ 国連事務総長の呼びかけ：「SDGs達成に向けた資金動員・調達をスケールアップすること」「資金を公正（equitable）に動員し、女性・少女の貧困の根絶に的を絞った投資・政策を実行すること」（パラ20）

問題意識

1. 国際金融システムのあり方
2. 財政・経済・社会政策の策定におけるジェンダー主流化の現状
3. 女性団体の参画・財政基盤・キャパシティ
4. 既存の開発戦略の限界

提言 (パラ23)

政府に行動を要請(urge)する

市民社会（女性団体、ユース団体、フェミニストグループ）、
民間セクターなどの関係ステークホルダーにも行動を呼びかける（invite）

▶ 合意結論案（2024年2月4日発表のゼロドラフト）

1.

開発コミットメントの達成に向けた**資金調達・動員**にジェンダー視点を統合すること

Integrate a gender perspective into financing for development commitments

2.

女性・少女の貧困の根絶に向けた支出のために**財政余力**を拡大すること

Expand a fiscal space for investments to end poverty for women and girls

3.

ジェンダー視点のある**経済・社会政策**を実施すること、**公的機関**を強化すること

Implement gender-responsive economic and social policies and strengthen public institutions

+ 「女性団体への資金提供・支援」 「多面的な貧困に関するデータ・統計」 「新しい開発戦略」

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

1.

開発コミットメントの達成に向けた資金調達・動員にジェンダー視点を統合すること

背景： 2030年を期限とするSDGs達成に必要な資金の圧倒的な不足

- ✓ 既存のあらゆるコミットメントの確実な履行
- ✓ 持続可能な開発に向けた非差別的な法律、社会インフラ、政策の推進・実行、女性の経済への完全かつ平等な参画、意思決定過程とリーダーシップへの平等な参画
- ✓ 予算編成プロセスの透明性の向上と平等な参画を進め、ジェンダー予算（gender-responsive budgeting）を推進する
- ✓ 民間セクターに対し、女性の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク、同一労働または同一価値労働に対する同一賃金、均等な機会、さらには職場における差別やabuse（ハラスメント、威嚇、いじめ等）からの保護を確保する努力を通じて、ジェンダー平等の推進に貢献することを奨励する

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

2.

女性・少女の貧困の根絶に向けた支出のために
財政余力を拡大すること

背景： コロナを含む複合的危機による途上国の財政破綻・債務危機と、女性・少女への負の影響

- ✓ あらゆるソース（公共、民間、国内、国際）からの財源の調達・確保
- ✓ 経済と社会の変革を後押しする財政余力の確保
- ✓ 世界的な金融セーフティネット
- ✓ 国際税務協力
- ✓ 累進性課税
- ✓ ODA（含：0.7%目標）
- ✓ 債務整理メカニズム
- ✓ 気候ファイナンスにおけるジェンダー主流化
- ✓ ジェンダーボンド（ジェンダー債）などの債権発行における基準や規制枠組みを強化し、実証可能な追加的なインパクトが確実に達成されるようにする
- ✓ 有害な補助金や税制上の優遇措置を、貧困層に配慮したジェンダー視点のある政策・事業に再配分する措置を検討する

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

3.

ジェンダー視点のある経済・社会政策を実施すること、
公的機関を強化すること

背景： 経済・財政政策におけるジェンダー平等視点及び女性の参画の不足

- ✓ 経済機関/制度（economic institutions）における女性の代表性、リーダーシップ、参画の拡大
- ✓ 国・自治体の予算プロセスにおけるジェンダー分析の強化。予算プロセスへの参画の拡大
- ✓ 汚職の防止
- ✓ 最低賃金法と同一価値同一労働同一賃金の確保を含む中核的労働基準の遵守
- ✓ 融資への平等なアクセスの確保など、女性起業家や女性が経営するビジネスをサポートする政策
- ✓ 財政政策の設計、実施、評価におけるジェンダーの視点の主流化を推進するために、ナショナルメカニズムや他の政府機関内のジェンダー担当者の権限、運営キャパシティ、リソースを強化
- ✓ 財政的、技術的、人的資源の十分に配分を通じたナショナル・マシナリーの強化

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

女性団体・共同体の参画を促し、資金を提供する

- ✓ 性差別や偏った社会規範に異議を唱え、アフーマティブアクションや革新的な法律を通じた平等の実現を提唱し、貧困の中で暮らす女性・少女のエンパワーメントに取り組む女性団体に対して、充実した、柔軟な、複数年にわたる資金の提供する
- ✓ 女性の働く権利と職場での権利の擁護に取り組む地方・地域（ローカル）の女性団体に十分な資金を提供し、活動基盤を強化（capacitate）できるようにする
- ✓ 政策・事業の設計と実施において、雇用者・自営業者を含む女性労働者の集団、団体、労働組合が十分に、効果的に、有意義に参画できるような政策を実施する
- ✓ 女性団体が、ディーセント・ワークと天然資源の持続可能な利用を求め（advocate）、貧困の中で暮らす女性たちのエンタイトルメントとサービスへのアクセスを仲介し、アクセシビリティを向上できるように支援する

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

多面的な貧困データ及び統計を拡充する

- ✓ 国家統計局及び政府機関が、所得、性別、年齢、人種、エスニシティ、移民ステータス、障害、居住地その他の特徴ごとに分類された多面的な貧困に関するデータを収集、分析、普及、活用できるよう、能力強化を行う
- ✓ 政策やプログラムの設計において、資源や消費パターンに影響を与える意思決定に関連する社会規範や力関係に関するデータの収集と活用を増やす
- ✓ 市民が生成したデータ（citizen-generated data）を強化し、貧困の中で暮らす女性が直面する課題を浮き彫りし、アカウンタビリティ（成果責任）を求めるためにこうしたデータを活用する機会を増やす

▶ 合意結論案（ゼロドラフト）

持続可能な経済と持続可能な社会に向けた新たな開発戦略を形成する

- ✓ 貧困の中で暮らす女性の人権を尊重し、擁護し、満たす
- ✓ 無償ケア労働の経済・社会発展における価値と貢献を把握するために、GDPを超えた新たな指標を導入する
- ✓ 女性と少女の適切な生活水準を確保するため、構造的な障壁に対処する包括的で参加型のジェンダー対応型の貧困撲滅政策（社会的保護、公共サービス、持続可能なインフラなど）を実施する。
- ✓ 公平で、質が高く、利用しやすい公共サービスへの投資。（能力開発、無償ケア労働の軽減、ディーセントワークの推進等）社会インフラへの公的支出は、プラスの波及効果を生み出し、経済の生産性を向上させる
- ✓ ケア・エコノミーへの投資を大幅に拡大する。ケアエコノミーは、男女格差の縮小に貢献しうる人間らしい雇用の源である。持続可能な経済に向けた働き方の変革（transformation of work）から女性が確実に恩恵を受けられるようにするための措置を講じる

ご清聴ありがとうございました